

JANOG57 NOCでの メタルケーブルを使ったレポート

JANOG57 NOC ケーブルチーム

今井 宏謙

鷲津 光貴

2026/02/13

株式会社Jストリーム エンジニアリング推進室

今井 宏謙

2020年度入社、新卒6年目

普段はCDNの基盤となるインフラ構築・運用をしています

JANOG参加は10回目ぐらい

初参加はJANOG39@金沢に若者支援で参加しました

JANOG57 NOC参加してます

会場Wi-Fi、問題なく提供出来てるといいな





その1

ホストのさくらインターネット様経由で
JANOG57 オリジナルケーブル（Cat6 細径）を作成いただきました
会場のUTPはすべてこのオリジナルケーブルで配線させていただきました

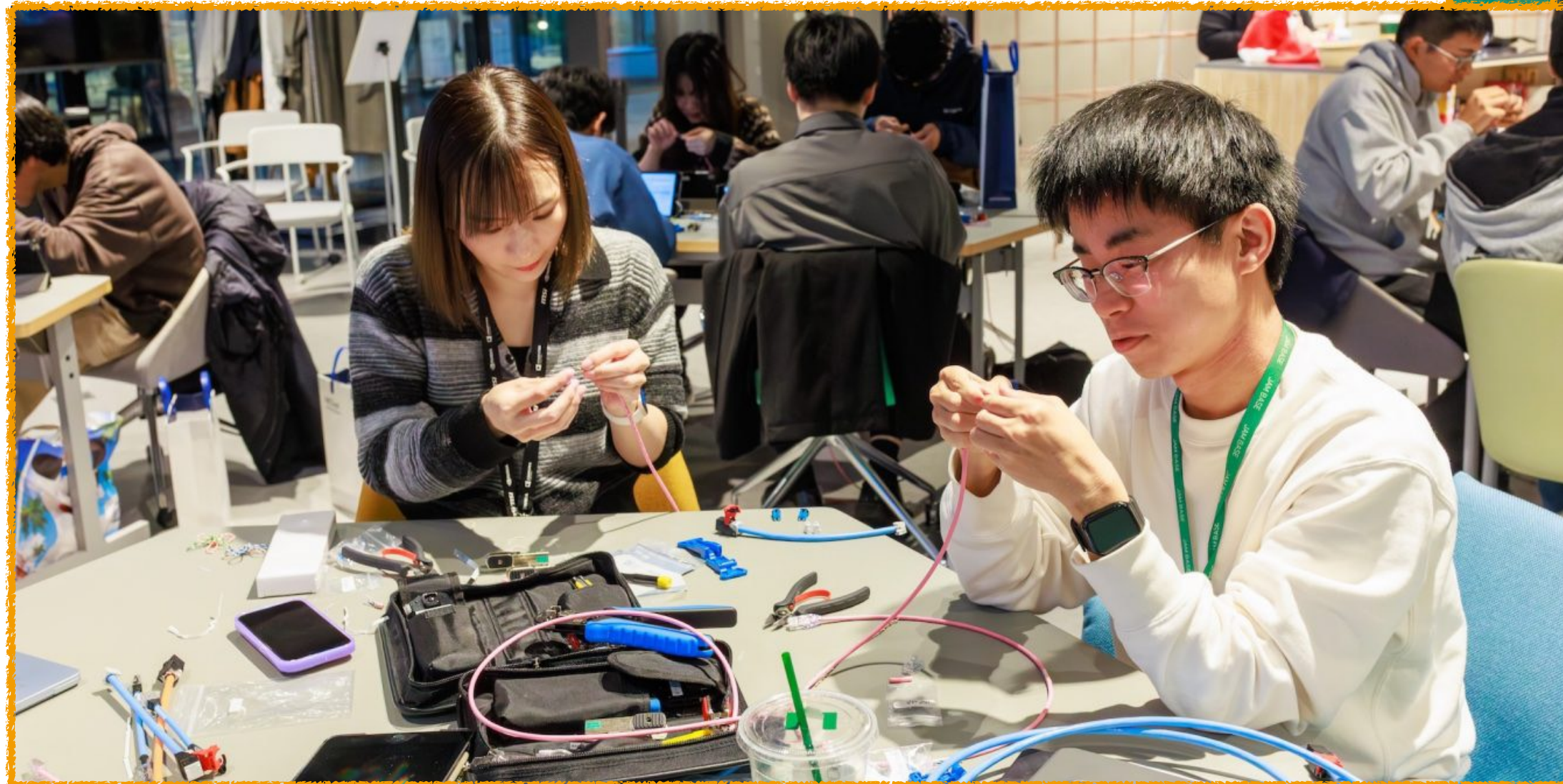
その2

検査済み（ココ重要！）の成端工具をお貸しいただきました

その3

準備期間中に、ケーブル講習会を開催いただきました

Cat6, Cat6Aのケーブル成端について、講習を実施いただきました！



鷺津さんより

メリット

- ・ イベントNOCだとメタルの総長が2kmを超えることも多く、細いだけでメリット
- ・ 純粋に体積が小さくなるので梱包容量が減る
- ・ 重量が軽いため、長尺ケーブルであるほど敷設/撤収時の運搬が楽
- ・ ケーブルが束なる箇所での養生がしやすい、ケーブルプロテクターに入る本数が多い
- ・ ドア下などの細い隙間を通す事ができる
- ・ 今回使ったケーブルは撚り線だったためクセが付きにくく、直線の敷設がしやすい

デメリット

- 人の導線になる（＝踏まれるリスクの高い）場所・台車の通る場所、荷物の置き場所になる場所では、外部要因での断線の懸念がある
 - イベント会場ではオフィスなどの利用に比べて耐久性が求められる
 - 敷設の際も、デリケートに扱う様に注意する必要がある
- 長尺のケーブルを使いづらい
 - 今回利用した細径のUTPは仕様上の上限が60m ※一般の径のUTPは上限が100m
 - 鷺津さんからもあったように、（芯線が撚線の）細径ケーブルは長尺になるほど品質が不安定になりやすい

その他感想

- 成端の難易度はあまり変わらなかった
 - 細かい作業になるため所要時間は長めだったが、ガイドパーツがあるため間違いは少なく、全体的な難易度としてはあまり変わらない印象
- 一般のケーブルと細径ケーブルと使い分けができるとさらに便利になりそう
 - 人の導線をまたぐ配線は一般のケーブル、配線が密集するところや比較的短尺区間は細径など